

言語学

注意：日本語を母語としない受験者は英語で解答することも可能です。

（１）日本語には西洋語の影響を受ける前には非情の受身（主語の指示対象が無生物である受動文）はなかった、という主張の妥当性について、以下のデータを参照しながら、自分の考えを述べなさい。

法隆寺は聖徳太子によって建てられた。
答案用紙が試験監督によって配布された。
人の家居のなごりなくうち捨てられて（源氏物語）
衣の裾、裳などは、御簾の外にみな押し出されたれば（枕草子）
おほきなる木の風に吹き倒されて（枕草子）
月は霧に隔てられて、木の下も暗くなまめきたり。（源氏物語）

（２）音節 (syllable) とは何か、国際音声記号 (IPA) の補助記号 [,]（短い縦棒）および [˘]（下向きの半円）の機能を踏まえつつ、音声学的観点から 1 ページ以内で述べなさい。

（３）次の表に挙げる 9 つの言語 A～I はいずれも同じ語族 X に属する言語であり、その語族の語派 (branch, subgroup) である P, Q, R, S のいずれかに属する。次の表は、各言語において遠称指示代名詞（彼、彼女、それ等）が性と数によってどのような語形を取るかを示したものである。なお ā, ȃ は長母音を、ṅ は歯茎子音を、ɖ, ɗ, ɳ は反舌子音、y は硬口蓋接近音 [j] を表す。

		単数			複数		
語派	言語名	人間の男性	人間の女性	人間以外	人間の男性	人間の女性	人間以外
P	A	avan	aval	atu	avar		avay
	B	avanu	aval	adu	avaru		avu
	C	aθ			aθām		
Q	D	vāṇḍu	adi		vāru		avi
	E	ōr	ad		ōrk	av	
R	F	ōṇḍ	ad		ōr	av	
	G	avnd	ad		avr	adav	
S	H	ās	ād		ār		ād
	I	ōd			ōfk		

（次頁に続く）

これらの言語の情報をもとに語族Xの祖語の遠称指示代名詞を再建した場合、最も祖語に近い性・数の体系をもつと考えられる言語（複数でもよい）を挙げ、その理由を1ページ以内で述べなさい。その際、「改新 (innovation)」 「経済的な」という語を用いるとよい。なお音変化の考察や祖語の語形再建の必要はない。

もしどの言語が祖語に近いか決定できない場合は、複数の可能性を示した上で、そのそれぞれにどのような長所や問題点があるかを述べること。

（４）フィールドワークにおいて以下のような言語データが得られた。この言語データにおいて観察できるヴォイス現象について形式と意味の両面から1ページ程度で記述しなさい。なお、記述において重要だと考える用語についてはその定義を明らかにしたうえで使用しなさい。

1. jįgalago	私が歩いた
2. jįgalana ibae	女が歩いた
3. tįgurugo	私が寝た
4. hįgimawna imoe	果物が熟れた
5. kįgaengo ogmoe	私が果物を食べた
6. kįgaenna ibae ogmoe	女が果物を食べた
7. pįgakona ibae oggo	女が私を見た
8. pįgakogo ogbae	私が女を見た
9. rįkaenna imoe	果物が食べられた
10. rįpakogo	私が見られた

（５）以下の言語学用語を、例を挙げつつ簡潔に説明しなさい。

- （a）語彙 (lexicon) と文法 (grammar)
- （b）アクセントと声調 (accent and tone)
- （c）文法性 (grammatical gender) と類別詞 (classifier)
- （d）意味役割 (semantic roles)

【以上】